

令和四年度 一橋大学商学部学校推薦型選抜試験問題

【推薦小論文】

以下の課題文は、ジェリー・Z・ミユラー著・松本裕訳『測りすぎ なぜパフォーマンス評価は失敗するのか?』（二〇一九年、みすず書房）からの抜粋です（ただし、問題作成上、文章を一部変更し、強調記号や注を削除しています）。この文章を読んで、次の四つの設問に答えなさい。

設問（１）傍線部①「上司からすれば、部下には小物の麻薬密売人を大勢逮捕することで数字を積み上げてもらいたいのだ」について、筆者はなぜそのような考えているか、二五〇字以内で説明しなさい。

設問（２）傍線部②「上澄みすくい（クリーミング）」という古典的な戦略が取られる。」について、その戦略の概要およびその戦略が取られた理由を、あわせて一五〇字以内で説明しなさい。

設問（３）傍線部③「問題は測定ではなく、過剰な測定や不適切な測定だ。測定基準ではなく、測定基準への執着なのだ。」について、「測定基準への執着」の内容を明らかにした上で、それがなぜ起きると筆者が考えているか、四〇〇字以内で説明しなさい。

設問（４）傍線部④「医療業界で生じている問題がほかの多くの業界でも見られるということだ。」について、ほかの業界でも見られる「問題」をあなたの身の回りの事柄やニュースなどから一つ取り上げて、四〇〇字以内で説明しなさい。

【課題文】

著作権の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開
していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

以下のⅠとⅡの文章を読み、各問いに答えなさい。

Ⅰ.

著作権保護の観点から、公開していません。

(堂目卓生『アダム・スミス』中公新書、2008年、pp.159-7)

Ⅱ.

著作権保護の観点から、公開していません。

(ダロン・アセモグル他『マクロ経済学』東洋経済新報社、2019年、p.244)

問(1) Ⅰの立場に立って、「分業」(division of labor)によって豊かさが増進する理由を、「特化」に関する下記の3つの視点から説明しなさい。(800字以内)

- ①労働の特化による時間の節約
- ②労働の反復による学習効果
- ③労働の特化による発明の促進

問(2) Ⅰの下線部(a)のとおり、アダム・スミスは生産性向上が社会の最下層の人びとの生活水準を向上させると述べる。しかし、一方で、Ⅱの下線部(b)で指摘されているとおり、近年、経済成長が不平等の拡大につながるとする見方も増えている。例えば、経済成長をもたらす資本蓄積が所得の不平等を生む背景として、トーマス・ピケティとエマニュエル・サエズは、富裕層の所得の構成要素が変化していることを指摘している。すなわち、1970年代以前は、富裕層の所得のほとんどは資本所得(株式配当、資産譲渡益、利子所得、不動産収入など)であったが、最近の30年間に、富裕層の所得のうち賃金の割合が劇的に増加したという。

このような所得構成の変化を生み出した制度的背景を説明しなさい。また、分業の利益が最下層にまで広がらなくなった理由として、社会の分業構造にどのような変化が生じたのだろうか。考えられる理由を説明しなさい。(800字以内)

【参考文献】 Emanuel Saez and Thomas Picketty, "Income Inequality in the United States, 1913-1998," *Quarterly Journal of Economics*, Vol.118, 2003, pp.1-39.

【推薦小論文】

以下の課題文は、マイケル・サンデル（鬼澤忍訳）『実力も運のうち——能力主義は正義か？——』（早川書房、2021年）からの抜粋です（ただし、問題作成の都合上、表記の仕方などは適宜変更を加えている。）

設問1 下線部1の趣旨について、400字以内で分かりやすく説明しなさい。

設問2 下線部2について、著者（マイケル・サンデル）は、なぜこのように述べているのか、また、下線部2の「福祉国家リベラリズムの哲学の弱点」を補うために、あなた自身はどのような議論を展開するかを、800字以内で述べなさい。

著作権保護の観点
から、公開していま
せん。

著作権保護の観点
から、公開していま
せん。

著作権保護の観点
から、公開していま
せん。

著作権保護の観点
から、公開していま
せん。

令和4年度一橋大学社会学部学校推薦型選抜試験問題

【小論文】

設問 社会生活における「曖昧さ」の弊害と効用について、具体例をあげながら論じなさい。

(1200字以内)